

札幌三角山放送局「月刊わっさむ」

札幌にまちの元気情報を発信

vol 9



和寒町の情報を札幌市民に向け発信し、交流人口の拡大と将来の移住・定住人口の拡大を目的に札幌三角山放送局で「月刊わっさむ」の放送を行っています。放送日は毎月第4火曜日午後2時～2時30分（30分間）です。

■「月刊わっさむ」第22回放送 窪田裕二さんがゲスト出演

1月22日の放送では、(株)冬音の窪田裕二社長にゲスト出演していただきました。

和寒町の特産「越冬キャベツ」を利用した「特製ホルモン鍋」「越冬キャベツプリン」を紹介。火に通し甘みが増した越冬キャベツのホルモン鍋を試食したパーソナリティの山上淳子さんも箸がとまらないと絶賛。「極寒フェスティバルでも越冬キャベツを使用した食べ物が用意されているので、ぜひご来場を」と参加を呼びかけていただきました。また、「道北地域の入口は和寒町、2月に開店する札幌店は道北のアンテナショップとして、越冬キャベツを始め、道北の食材を発信していきたい。」と熱い想いを語っていただきました。



■「月刊わっさむ」第23回放送 中山立章さんがゲスト出演



2月26日の放送では、士別翔雲高校3年生の中山立章さんにゲスト出演していただきました。

中山さんは、町民大新年会にも出演しましたが、口だけで音楽を表現するヒューマンビートボックスに中学3年生のときに出会い、独学で練習、昨年11月に東京で開催された全国大会「Japan Beatbox Championship 2012」ではベスト4に輝きました。「高校卒業後は別な道で札幌へ進学するが、これからもヒューマンビートボックスを多くの人に伝えていきたい」と夢に向かってがんばる決意をした青年をクローズアップしました。

■「月刊わっさむ」第24回放送 地湧の里がゲスト出演

3月26日の放送では、地湧の里から事務局長の八島邦彦さんにゲスト出演していただきました。

自分たちが生産している農産物が、どんなかたに食べていただいているのか、直接消費者の声が聴きたいとの想いから昭和60年に始まった、定期的に農産物をお届けする「味のふるさと便」。

「アスパラ、メロン、とうもろこし、南瓜など自然の恵みの“わっさむ”の安全、新鮮、顔の見える農産物をぜひ味わってください」と呼びかけました。



◆平成25年度も引き続き、「月刊わっさむ」で和寒町を発信します！

放送地域は、札幌市西区周辺地域 札幌で聴くには、周波数FM76.2MHz 和寒町ではインターネット放送動画がご覧になれます。また、過去の放送内容は、図書館で聴くことができます。

◆保育所児童の声でコマーシャル

4月11日、和寒町保育所でコマーシャルの収録を行いました。番組コーナー間で使用され、元気でかわいい年長さんが番組を盛り上げます。



■番組のお問い合わせ：総務課まちづくり推進係 TEL32-2421